

# 照

四年 13  
 筆順 日 昭 照  
 オン シヨウ  
 フン て 日らす 日れる

成り立ち



「日の光を招き入れる」という意味で、「明るく」てらす」という意味を表した「昭(3年336)」と、火がもえることを表した「灠」を組み合わせて作った字で、「火をもやして明るく」てらす」という意味を表したものです。

【例】照明。

「照らし合わせる(両方から照らすこと)」という意味から、「くらべ合わせる」という意味に使われます。【例】照合、照応、対照。

また、「昭(日が照らすこと)」の意味にも使われます。【例】日照時間、残照、夕照。

使い方

▽春の日はうららかに照っているので、つい心をさそわれて、ピクニックに行きました。

▽友だちがとても上手な字を書くのを見て、思わず「きれいな字ね」とほめたら、しきりに照っていました。

熟語例

▽照明(光で明るく照らすこと。「照明器具がないと、ここでは暗くて本が読めない」などというふうには、つかいません。)

▽照合(正しいかどうか、照らし合わせること。「番号を照合したが、まちがいがなかった」などというふうには、つかいません。)

▽照応(二つのものをくらべ合わせたとき、たがいに応じ合っていること。「前後が照応した文章」などというふうには、つかいません。)

▽対照(二つのものを照らし合わせること。また、二つのものを照らし合わせた時、非常に違っていること。「あの兄弟は、一人がやんちゃで、もう一人がおとなしい。全く対照的な兄弟だ」などというふうには、つかいません。)

# 賞

四年 15  
 筆順 ャ ュ ヨウ  
 オン シヨウ  
 フン

成り立ち



「りっぱな家」の形を表した「尚(堂4年591)」とお金の意味を表した「貝」とを組み合わせて作った字です。

「尚」は「りっぱな家だと言って、ほめる」意味があります。「りっぱな行いを、ほめて、ほうび」にあたる「お金」を表した字です。

「ほめる」意味。【例】賞賛、賞嘆、激賞。  
 「ほうび」の意味。【例】賞金、賞品、恩賞。  
 また、「すぐれたところをほめ、それを楽しむ」という意味にも使います。【例】鑑賞、賞味。

使い方

▽人命救助をした青年を、みんな口をきわめて賞賛し、賞金と賞状を渡しました。

▽美しい音楽を鑑賞することは、大きな楽しみの一つです。

熟語例

▽賞賛(ほめたたえること。)

▽賞嘆(「ああ」と感心して、ほめたたえること。「思わず賞嘆の声をあげた」などというふうには、つかいません。)

▽激賞(非常に強くほめること。「その絵を見た人は、だれもが、そのすばらしさを激賞した」などというふうには、つかいません。)

▽賞金(ほうびとして与えられるお金)

▽賞品(ほうびとして与えられる品物)

▽恩賞(主君がほうびとして家来に与えるお金や品物)

▽鑑賞(芸術作品を見たり聞いたりして、すぐれたところをほめ、味わうこと。)

▽賞味(食べ物や物を味わい、楽しむこと。)